

茶道裏千家淡交会青年部
ナショナルコンファレンス2018
 ー 誇りと情熱 ー



一日目は受付後、呈茶席が設けられ、一晩を楽しました。開会式の後、鵬雲齋大宗匠による講話では、ご自身の生い立ちと茶の精神についてのお話をいただき、その

後、デービッド・アトキンソン氏による伝統文化が果たす役割についての基調講演をしていただき、夜は懇親夕食会となり、名刺交換ゲームや福引きなどを通じて全国の青年部会員との交流を深めました。二日目午前中はグループ研修でコースに分かれて様々な体験をし、午後からは呈茶・研修の報告会が行われました。

その後開催の坐忘齋お家元による座談会に続き千敬史様、金子千敬史様、金剛龍譚氏、樂薦人氏による座談会を拝聴し、夜は実行委員会による懇親会が行われました。三日目は茶会が催され茶道の素晴らしさを実感した三日間を締めくくりました。

全国から約六百名の青年部会員が集まり交流を深める、ナショナルコンファレンス2018が三月二日、四日まで国立京都国際会館・グランドプリンスホテル京都にて開催されました。

青 楡

題字 井口海仙先生筆

発行責任者

札幌第一青年部
 部長 谷 香織

札幌第二青年部
 部長 川本 聖

札幌第三青年部
 部長 梅田 直子

札幌第四青年部
 部長 和田 知子

編集責任者

札幌第一青年部
 谷 香織

福井 由希
 松浦真理絵

札幌第二青年部
 川本 聖
 高橋 洋平

札幌第三青年部
 梅田 直子
 押尾紗有里
 熊谷まりな
 安田絵梨子

札幌第四青年部
 和田 知子
 合月 奏子

ナショナルコンファレンス グループ別研修

二日目は、グループ別研修に参加。様々な観点から茶道に関する三十種類の研修が組まれ、京都の茶文化に触れることができたのでいくつかが紹介します。

「中村翠風工房での交趾焼花入絵付体験」では、歴史や今に至るまでの苦勞や色の出し方など絵付体験を通してその奥深さを知りました。

「朝日焼体験」では、粘土をのびし型に馴染ませながら茶碗を制作しました。多くの手間と時間を要していることを知り、一つ一つに感謝の気持ちを抱きました。

「飯後の茶事と文化講演会」では太田達氏の講演の後、茶事体験をさせていただきました。美術館に貸し出すほどのお道具を、実際に手に取りながら大変有意義な時間を過ごすことができました。



「二力奉の女将に学ぶもてなしの心」や「京舞に学ぶ美しい所作」などでは江戸時代から継承されている文化を学びました。

「精進料理調理体験」では和合茶礼(ざいれい)の儀式について話があり、茶道の原型であることを学びました。精進料理をつくりながら、食に対する心構えを学びました。

「京町屋の暮らしを学ぶ」では、杉本家にて一五〇年続いできた漬わしや食文化に触れ、じゃこ山椒の作り方を教わりました。

「冷泉家訪問」では、和歌の講義と普段見ることのできない邸宅を見学し、和歌と茶道の深いつながりを知りました。

携わっている方々のお話を聞き、実際に触れ学ぶこの研修はそれぞれ茶人生にとっても貴重な経験となりました。



北海道地区大会青年のつどい

札幌の初夏らしい爽やかな晴天に恵まれた七月七日(土)、第五十五回北海道地区大会の一環として青年部のつどいが行われました。

宮川北海道プロダク長のお話に始まり、千敬史様のご挨拶の後、石田函館青年部部長のナショナルコンファレンス二〇一八参加報告などのお話をいただきました。

札幌第一青年部
 五月十二日、九月一日

札幌第二青年部
 七月二十一日、十月十三日

札幌第三青年部
 六月十六日、十一月十日

札幌第四青年部
 八月十八日



利 休 道 歌

その道に
 入らんと思ふ心こそ
 我身ながらの師匠なりけれ

無 限 碑 清 掃

青年部は持回りで無限碑清掃を行っております。

八月十八日は十四名の部員が参加いたしました。澄みわたる青空の下で仲間達と奉仕しておりますと、茶道を通じて得られた絆を感じ、道を拓かれた先人方への感謝の念が込み上げてまいり、更なる精進を誓いました。

今年度は次の通り七回の清掃を行いました。



札幌第一青年部

札幌第一 青年部茶会



北海道地震の復興を応援する想いも込め、アイヌ工芸や地域の窯元作品などを取り入れ、短冊「松樹千年翠」を掛け、札幌弘益の象嵌花入と親棚を用い、主茶碗は厚真町・石山俊樹作粉引を使用した。アイヌ文様のモビールを北海道新幹線カラーの緑と紫でライトアップするなど、趣向もまた好評でした。

十月二十八日(日)木々が鮮やかに色づく秋空の中、北海道茶道会館にて、北海道名百五十周年を記念し「拓・ひらく」をテーマに札幌第一青年部茶会が行われました。二階待合では、第一青年部機関誌「北翔」、NCCコンファレンス2018に参加して、『研修行事・積丹』をパネルにまとめ、研修で制作した作品などを並べ紹介しました。日頃の青年部活動を知っていただける機会となりました。一階嘉祥軒濃茶席は、床に「一階嘉祥軒濃茶席」「華開五葉」を掛け、点前道具は北海道開拓期を連想されるものと「こぶし焼き」の水指、茶入は大雪山「雪結晶」を用いました。主菓子には「蝦夷餅」で紅葉の彩を添えました。二階立礼薄茶席では「未来を拓く」過去・未来の北海道」をサブテーマに、また北

研修行事



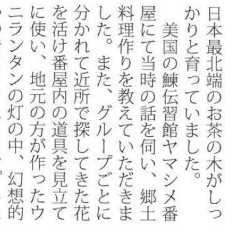
北海道開拓の村民呈茶

六月十日(日)、北海道開拓の村にて市民呈茶を行いました。テーマは「風」。呈茶席は野点の趣向と体験コーナーを設けました。二十五名の会員をお迎えし、親生方や海外からの観光の方を含め約二百名のお客様にご来場いただきました。今後も多くの方に茶道に触れていただけるよう活動いたします。



札幌第二青年部

札幌第二 青年部定期総会・交流会

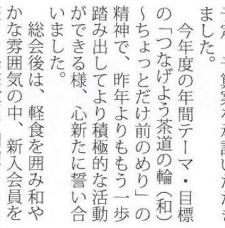


六月三十日〜七月一日の二泊二日の研修で、テーマは「積丹」でお茶の木を見学し地元の方とふれあおう。二十八名が参加しました。古平の禅源寺で世界唯一の油絵の五百羅漢を拝観いたしました。そして、境内には寒い地域で奇跡的に耐性化した日本最北端のお茶の木がしっかりと育っていました。アメリカの醸造習館ヤシメ番屋にて当時の話を伺い、郷土料理作りを教えてくださいました。また、グループごとに分かれて近所で探してきた花を活け番屋内の道具を見立てに使い、地元の方が作ったウニランタンや灯の中、幻想的かつ昔にタイムトリップしたかのような夜茶会を行いました。二日目は石蔵にて、積丹ブルーをイメージした道具組んで地元の方を迎え呈茶を行いました。人との出会いの大切さを学び、笑いあり涙ありと会員同士の交流も深まり、これからの青年部活動の躍進に繋がれたらと思います。



札幌第二青年部

札幌第二 青年部臨時総会

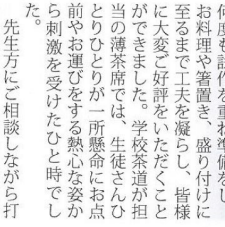


二月十一日(日)、北海道茶道会館三階大広間において定期総会を行い、昨年度の行事・会計報告、今年度の行事予定・予算案を承認いただきました。今年度の年間テーマ「目標の「つなげよう」茶道の輪(和)」を「ちよつとだけ前のめり」の精神で、昨年よりももう一歩踏み出してより積極的な活動ができる様、心新たに誓い合いました。総会後は、軽食を囲み和やかな雰囲気の中、新入会員と交えて交流会を開催しました。自己紹介や近況報告を通じてお互いをより深く知り、新たな発見のある楽しい時間を過ごすことができました。



札幌第二青年部

札幌第二 青年部学校茶道合同茶会

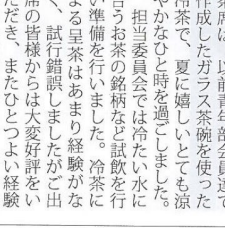


五月十三日(日)、北海道茶道会館において札幌第二青年部・学校茶道合同茶会を開催いたしました。小森宗代幹事長先生をはじめ、諸先生方、お社中、先輩

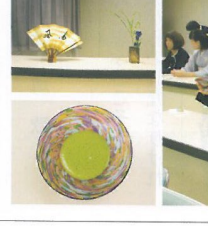


札幌第二青年部

札幌第二 青年部臨時総会



八月十九日(日)、かてる277において臨時総会を行い、小森宗代幹事長先生をはじめ先生方や青年部会員が参加の元、次期部長候補者の選出を行いました。開会に先駆けて行われた呈茶席は、以前青年部会員達で作成したガラス茶碗を使った冷茶で、夏に嬉しいとても涼やかなひと時を過ごしました。担当委員会で冷たい水に合うお茶の銘柄など試験を行い準備を行いました。冷茶による呈茶はあまり経験がなく、試行錯誤しましたがご出席の皆様からは大変好評をいただき、またひとつよい経験を重ね、勉強することができました。



札幌第三青年部

歓送迎茶会

二月二十五日(日)、札幌市生涯学習センターちえりあにおいて新入会員の二名と卒業される方一名をお迎えして、歓送迎茶会を行いました。茶室でお濃茶を、場所を改めて立札にてお薄をお出しした後、点心をいただきました。新入会の方は緊張した面持ちでしたが、和やかな雰囲気の中で寛いでいただきました。



また卒業される方がユーミンの大ファンということで、濃茶席では「卒業写真」という銘の主菓子を、薄茶席ではユーミンのレコードジャケットを模した手作りの袋に入ったお干菓子を用意いただきました。薄茶席ではご挨拶に感動のお言葉を頂けて心温まる席になりました。



学校茶道交流会

夏の名残が残る八月十九日(日)北海道茶道会館にて第三十回学校茶道交流会を開催いたしました。夏休み期間にも関わらず多くの生徒・学生さんにご参加頂き、社中・茶道部の皆様をお迎えいたしました。



夏祭りの縁日を趣向に菓子席をあつらえ、会員手作りの冷やし善哉を召し上がっていただきました。お薄席では地区大会のために製作したガラス茶碗や、ふれあい席で使用しましたお道具を一部使用させていただきました。



またお席りに感謝の気持ちを込めて、ふれあい席の写真をプリントしたお菓子を御持ち帰りいただきました。

札幌第四青年部

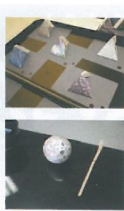
四茶会

九月二日(日)、北海道茶道会館にて、第四青年部の茶会を開催しました。大八木宗香幹事長先生はじめ、支部の先生方、お社中、先輩の皆様、近郊の青年部の皆様、約百名のお客様をお迎えし、会員二十三名が濃茶席、薄茶席で服差し上げました。まず嘉祥軒の濃茶席では、「月」をテーマに「桂花露香」を掛けました。砵の香合を飾り、金木犀が香る中で月の見趣向で設えました。主菓子は、中餡を黄色に染めた月見饅頭を用意いたしました。濃茶は、一保堂の「平成の昔」を使用しました。お正客と「平成の次は、何になるでしょうね」と会話がはずむ席となりました。

「薄茶席のテーマは「宇宙。壮大ですが、青年部らしいのびのびと茶道を楽しむという思いを込めさせていただきました。

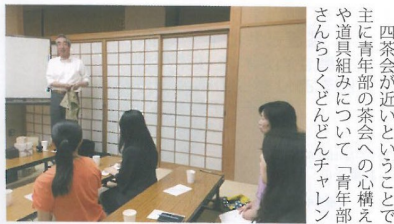


きました。テーマに沿ってお菓子やお茶、お道具類まで宇宙や星に見立て、部員制作による可愛い楽しいものでいっぱいになりました。お帰りの際、「青年部らしい楽しいお席でしたよ」とお声かけ頂きましたこと、とても嬉しく、頑張った部員の皆と喜びを分かち合えた楽しい茶会となりました。



お道具勉強会

七月二十七日(金)の十九時より札幌エルプラザにて、講師に磯駿河屋の岸社長をお迎えし、お道具勉強会を行いました。時折、豊平川の花火大会の音が聞こえる中で十三名が参加いたしました。



楽しんでみてください。先生方は応援してくださいますから。」と心強いアドバイスをいただき、実りのある勉強会になりました。

中島児童会館呈茶

六月九日(土)、中島児童会館にて子ども茶道教室を行いました。茶先ふり体験では、なかなか綺麗に泡が立たず、茶筌と格闘される姿が見られましたが、自分の点てたお茶を、とても満足そうに飲んでいたので印象的でした。

また、茶席体験では緊張した面持ちで正座をしていましたが、お菓子をいただくにつれて笑顔が見え始め、お茶を通じて楽しいひとときを過ごしていただけたように思います。



編集後記

九月六日未明に起きた北海道胆振東部地震では、人的被害を始め停電などこれまでに経験のない被害が北海道を襲いました。皆様に於かれましては、困難な数日を過ごされたことと思います。

謹んでお見舞い申し上げます。当たり前にあることが当たり前ではないこと、その一日を大切に生きるこの大切さを強く実感する機会となりました。

また、このような時にこそ、人ど人の思いやりが困難を切り抜けるために必要なのだと感じております。

今年も無事に「青楡」第五十四号を発行することができました。これもご協賛頂きましたら、ご指導頂きました諸先生、諸先輩の皆様、そしてご協力頂きました関係者の皆様のおかげと存じます。心より御礼申し上げます。

これからも四青年部一同力を合わせてより一層励んでまいる所存です。今後とも変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

平成三十年十二月
青楡第五十四号編集委員会

創業大正12年、味と信用を
ほこる札幌の老舗
御料理仕出し、弁当、貸席

老久一本店

き く いち

TEL. 521-0143

出会いを大切にします

美術茶の湯道具

OTAKA 株式会社 オオタカ

本社 札幌市中央区南1条西1丁目高森ビル6F
☎ (011) 762-3812

南一栄店 札幌市中央区南1条西1丁目高森ビル8F
☎ (011) 242-5428

新川営業所 札幌市北区新川2条7丁目1-10
☎ (011) 762-3812

函館店 函館市松木町3-17
☎ (0138) 53-9502

●干菓子職作品 ●現代著名作家作品
●新、古茶道具全般 ●お稽古用語全般
●掛軸の表具 ●桐箱、漆塗、牙蓋等の補修
●茶碗、水指等の補修

茶の湯道具員高品質い取り

歴史にはぐくまれた着物、その着物の心を伝えていきたい。

衣服舗

琴似角磯ハブタイ屋

札幌市西区琴似1条5丁目3-17 琴似本通り角磯ビル1F ☎(631)7874

創業弘化四年
新・古茶道美術品商

清高 やました

〒060-0002 札幌市中央区北2条西14丁目3-11
TEL 011(281)4566 FAX 011(207)5663
URL <http://www.seishodo.com>

三八はお菓子の
おいさを大切に
しております。

春夏秋冬
四季羊かん
菓子の製作
菓 栗くわし

札幌菓子處
三八菓舗

本社 札幌市中央区南1条西12丁目 ☎271-1138

出会いの感動を刻む

KEIO PLAZA HOTEL SAPPORO

京王プラザホテル札幌
〒060-0005 札幌市中央区北5条西7丁目2番地1
TEL.011-271-0111(代電)

<https://www.keioplaza-sapporo.co.jp/>

茶のある暮らし

茶の湯道具 **駿河屋**

営業時間 / 午前9時半~午後6時半 定休日 / 毎週日曜日
中央区南3条西2丁目 K T 三条ビル1 F (旧HBC三条ビル)
☎TEL (011)231-5006 FAX 231-5013
K T 三条ビル茶道教室 中央区南3条西2丁目
TEL (011)222-1454

茶道と共に菓子一筋
磨きぬかれた技術の粋
四季おりおりの情緒豊かな
主菓子・干菓子
山親爺・ノースマン

さわやかな北国の味
お菓子の **千秋庵** 創業 大正10年

札幌市中央区南3条西3 ☎ (011)251-6131(代)

茶道裏千家淡交会青年部
北海道ブロック HP
<http://hokkaidoblock.grupo.jp/>

全道の青年部の活動が掲載されております。ぜひご覧ください。

平成31年度
青年部会員募集中

お申し込みは先生を通じて各青年部部長までお願いします。

「伝える」から「伝わる」へ

HATAMOTO
新井 隆夫 代表取締役
www.hatamoto.co.jp